

農薬の使用方法が 短期暴露評価の実施により変わります

現在使用している農薬は、短期暴露評価に基づいて農薬製造者（メーカー）が使用方法の登録変更を申請した時点で、容器ラベルの記載内容や最終有効年月に関わらず、申請された変更内容の使用方法に従って使用することとなりました。

農薬を使用する際は、チラシやインターネット等で使用方法を確認しましょう。

- ・ 八戸市では、《市ホームページ内【農薬情報】》にて申請された農薬情報の通知を掲載しますが、詳細や最新の情報については、各農薬製造者（メーカー）が発行するチラシ等による確認あるいは直接のお問い合わせ、もしくは農業経営振興センターまでお問い合わせください。

農薬の登録については、これまで、残留農薬の摂取量が一日摂取許容量（ADI）^{注1}を超えなければ食品安全上問題ないものとされてきました。しかしながら、急性参照用量（ARfD）^{注2}（以下「ARfD」）を超えないか、という点についても評価（以下「短期暴露評価」）されることとなりました。

これに伴い、現在登録されている農薬についても、順次 ARfD の設定や短期暴露評価が実施されます。その際、ある農作物を一度に多量に食べた場合に残留農薬の推定摂取量が ARfD を超える場合は、該当する農薬の使用方法や残留基準値が見直されることとなります。

さらに、農薬製造者（メーカー）が自ら行う短期暴露評価により農薬の使用方法の登録変更が必要となれば、ARfD の設定や残留基準値の改定を待たずに、使用方法の変更が申請されます。農薬製造者（メーカー）から使用方法の登録変更が申請されると、変更内容が登録を受ける前であっても、農薬使用者は、容器ラベルに記載された使用方法や最終有効年月に関わらず、申請された変更内容に基づいた農薬の使用が求められます。

八戸市では、《市ホームページ内【農薬情報】》にて申請された農薬情報の通知を随時掲載しますが、詳細や最新の情報については、各農薬製造者（メーカー）が発行するチラシ等による確認あるいは直接のお問い合わせ、もしくは農業経営振興センターまでお問い合わせください。

注 1：一日摂取許容量（ADI）：ヒトがある物質を毎日生涯にわたって摂取し続けても、現在の科学的知見から見て健康への悪影響がないと推定される一日あたりの摂取量。

注 2：急性参照用量（ARfD）：ヒトがある物質を 24 時間またはそれより短い時間傾向摂取した場合に健康に悪影響を示さないと推定される一日あたりの摂取量。

下長／上長／館／市川／島守／中沢の各地区で耕作されている農業経営者の皆様を対象とする

経営再開マスタープランについて 座談会を開催します。

国では、地域農業の振興を図るため、新規青年就農者への給付金の給付や、農業用機械の導入のための経営体育成支援事業等を実施しております。

当市では、これらの国の事業を行うため、また、これからの地域農業のあり方を検討するための「経営再開マスタープラン」を各地区において更新するため、準備を進めているところです。

つきましては、プランに関する皆様の御意見を賜りたく、次のとおり座談会を開催いたします。

皆様お誘い合わせの上、お集まりくださいますようお願いいたします。

○日時・場所

地 区	日 時	場 所
下 長	1月26日(月) 13:30～	八戸市農業経営振興センター 多目的研修室 (八戸市大字尻内町字毛合清水29)
上 長	1月27日(火) 13:30～	八戸市農業経営振興センター 多目的研修室 (八戸市大字尻内町字毛合清水29)
館	1月28日(水) 13:30～	八戸市農業経営振興センター 多目的研修室 (八戸市大字尻内町字毛合清水29)
市 川	1月30日(金) 13:30～	橋向生活館 (八戸市大字市川町字古館24-3)
島守・中沢	2月 9日(月) 13:30～	南郷区役所2階 大会議室 (八戸市南郷区大字市野沢字黒坂11-10)

【お問合せ先】

八戸市農業経営振興センター（電話 27-9163、FAX 27-9166）



農業フィールド研修会開催のお知らせ

(主催：八戸市、八戸地域担い手育成総合支援協議会)

トマト・ミニトマトの栽培に興味のある新規就農者等を対象に、八戸市農業経営振興センター内の圃場にて実地研修を行います。

- ◆第1回 平成27年1月22日(木)13:00～15:00 ※座学30分
内容:トマト・ミニトマトの移植について
- ◆第2回 平成27年2月23日(月)13:00～15:00 ※座学30分
内容:トマト・ミニトマトの定植について
- ◆第3回 平成27年3月9日(月)13:00～15:00 ※座学30分
内容:トマト・ミニトマトの誘引及び管理について

※生育状況によっては日程が変更になる場合もあります。

場所：八戸市農業経営振興センター(八戸市大字尻内町字毛合清水29)

参加費:無料 定員:5名(先着順)

※お申込みは、平成27年1月21日(水)までに農業経営振興センターへ電話(8:15から17:00※土・日・祝日・年末年始を除く)・FAX・Eメールにて御連絡をいただきますようお願いいたします。

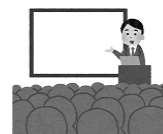
八戸農業ビジネスナイトセミナー開催のお知らせ

市内の農業ビジネスに興味のある方を対象に、農業ビジネスセミナーを開催いたします。

◎主催 八戸市、八戸地域担い手育成総合支援協議会

◎定員 70名/回 (先着順) 受講無料

◎日時・場所・テーマ



日時	場所	テーマ	講師
2月5日(木) 18:30～20:00	はっち2階 シアター2	農業 × ITの課題と 未来	八戸学院大学 学長 大谷真樹氏 株式会社アイティコワーク 取締役 岡本信也氏
2月6日(金) 18:30～20:00	はっち2階 シアター2	農業ビジネス戦略	株式会社ナチュラルアート 代表取締役CEO 鈴木 誠氏
2月7日(土) 18:30～20:00	はっち2階 シアター2	これからの農業経営 ～“農工商+消学”連携～	八戸学院大学 副学長 丹羽浩正氏

※お申込みは、各回とも開催前日までに農業経営振興センターに電話(8:15から17:00※土・日・祝日・年末年始を除く)・FAX・Eメールにて御連絡をいただきますようお願いいたします。

(申込み・問合せ)

八戸市農業経営振興センター TEL 27-9163 FAX 27-9166

E-mail nokei@city.hachinohe.aomori.jp

稲作農家の皆様へ

～「農業経営相談会」に来てみませんか～

平成26年産の米の価格が下がったことで、「来年の資金繰りをどうすればよいか」、「米の作付けを減らして他の作物を作付けしたいが、何かよい作物はないか」、「飼料用米を作付けしたいが、どうしたらよいか」など悩んでいることがないでしょうか。

このような農家の皆さんを対象に「農業経営相談会」を開催しますので、相談のある方はぜひおいでください。

1 開催日時、場所

平成26年12月10日（水）～平成27年3月31日（火）

場 所 三八地域県民局地域農林水産部普及振興室

※ 八戸市については、水稻実施計画等受付会場にて相談コーナーを設ける予定としております。

2 主 催

青森県、八戸市、JA八戸

3 相談内容

農業経営全般

相談項目	内 容
資金繰り対策	年内・次年以降の資金繰り、既往借入金の借入条件緩和
経営転換、規模拡大	有利な作物選定、飼料用米への取組、作付計画検討 農地中間管理機構の活用、設備投資等の各種支援事業
経営所得安定対策	認定農業者となるための手続き、ゲタ・ナラシ対策の加入
新技術の導入等	水稻直播栽培など低コスト技術、飼料用米の栽培技術、 転作作物の収量・品質向上技術など

○ お問い合わせ先

三八地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 電話 0178-23-3794

八戸市農業経営振興センター 電話 0178-27-9163

※ JA八戸については最寄りのセンターにお問い合わせください。



2015年 「つっさー」 農林業センサス

平成27年
2月1日

あなたの答えで
未来に大きな実がなる
農林業のタネを育てましょう！



政府統計

未来の農林業を育てる統計調査が始まります。

農林水産省

詳細は裏面をご覧ください

調査対象の候補となる方に平成27年1月中旬から1月31日までに調査員が伺います。

農林業経営体調査は、農家や林家、会社や集落営農など、農林業を営んでいる全国の様々な経営体が対象です。

青森県八戸市

農林業センサスは、農林業・農山村の「イマ」を明らかにして、「未来」を導く、あなたと地域のための「統計調査」です。

農林業センサスは農林業・農山村の動向を都道府県、市区町村、さらに詳細に、あなたが暮らす地域ごとに明らかにして、若者たちが希望を持てるように「チャレンジする農林業経営者」を後押しする施策や「美しく活力ある農山村」を創り、次世代に継承する施策の企画・立案に活用されます。



■過去の農林業センサスの結果から、例えば、規模の拡大が着実に進展していることがわかります。

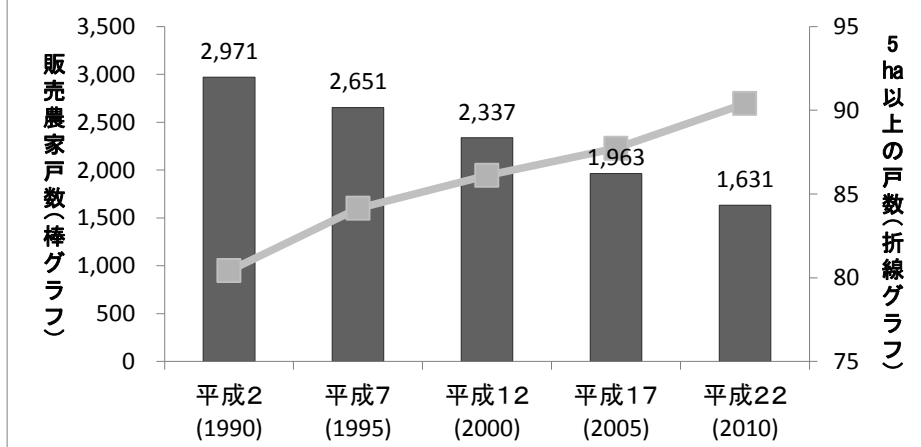
販売農家が減少する中(平成22年で163万戸)、5ha以上の耕地を経営する割合は増加し、着実に規模の拡大が図られている状況が見えます。

あなたの答えで
農林業の
タネが育ちます。

「つつちー」



経営耕地面積別販売農家数の推移 (単位:千戸)



農林業センサスの詳細な結果は農林水産省のホームページをご覧ください！

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/index.html>

●あなたの個人情報等は法律で守られています。

農林業センサスは統計法に基づく基幹統計調査です。調査内容は統計の作成や各種統計調査の名簿作成など、定められた目的以外に使うことを法律で禁じているので調査の結果が税金の徴収などに使われることは一切ありません。また、調査員には守秘義務があり、調査で知り得た情報が他人に漏れることもありません。



農地情報

はちのへのうぎょうだより平成27年1月号別紙

農地の売買、貸借の希望が次のとおり出されています。
農地を希望する方は八戸市農業委員会までお問い合わせください。
お問い合わせ先

八戸市庁別館5階 八戸市農業委員会 0178-43-9448(直通)

農＝農用地区域 調＝調整区域 農他＝農用地区域他 市＝市街化区域
農外＝農振地域外 売＝売渡希望 貸＝貸付希望 借＝借受希望

売渡・貸付希望

大字	小字	地目	面積 (㎡)	区域	区分	10a当たり希望価格 (万円)
河原木	蝦夷館	田	2,524	調	売	総額 1,260
	大谷地	田	2,023	農	〃	50
	大谷地	田	442	〃	〃	応相談
	大谷地	田	2,994	〃	〃	総額 100
	河原木後	田	991	調	貸	1.25
	千刈	田	2,026	農	売	350
	千刈	田	10,361	〃	〃	1,300
	千刈	田	2,478	〃	貸	無料
	高館前	田	6,815	調	〃	水利費
	玉谷地	田	991	農	売	総額 600
	日渡	田	991	〃	〃	80
	日渡	田	2,379	〃	貸	水利費
	日渡	田	2,578	〃	〃	水利費
	前谷地	田	1,983	〃	売	50
	前谷地	田	3,966	〃	〃	総額 1,400
	前谷地	田	4,633	〃	貸	水利費
	前谷地	田	4,633	〃	売	応相談
	前谷地	田	4,767	〃	貸	応相談
	前谷地	田	2,181	〃	売	応相談
	谷地田	田	1,983	〃	〃	700
谷地田	田	2,181	〃	貸	応相談	
長苗代	内前田	田	2,332	農	売	350
	内前田	田	991	〃	〃	総額 350
	大谷地	田	4,317	農他	〃	350~400
	大谷地	田	989	農	〃	総額 50
	大谷地	田	2,246	〃	〃	総額 350
	島ノ後	田	1,210	調	貸	無料
	島ノ後	田	813	〃	〃	無料
	下碓田	田	1,983	農	〃	応相談
	下亀子谷地	田	998	〃	〃	応相談
	下亀子谷地	田	1,983	〃	〃	総額 4
	コブノ木	田	2,181	〃	〃	水利費
	制札前	田	1,943	〃	〃	応相談
	制札前	田	2,577	〃	〃	応相談
	制札前	田	991	〃	売	応相談
	制札前	田	2,875	〃	〃	400
	中坪	田	991	〃	貸	水利費
中坪	田	495	〃	売	総額 30	
中坪	田	2,006	〃	〃	応相談	
二分谷地	田	1,722	〃	〃	350	

売渡・貸付希望

大字	小字	地目	面積 (㎡)	区域	区分	10a当たり希望価格 (万円)
長苗代	谷地	田	991	農	売	応相談
	谷地	田	1,586	〃	貸	水利費
	谷地	田	2,578	〃	〃	水利費
尻内町	赤坂	田	3,485	農	貸	総額 3/年
	上谷地	田	1,659	〃	売	貸可 応相談
	笹ノ沢	畑	910	〃	貸	総額 2/年
	沢合	田	717	〃	売	総額 250
	下川原	田	1,487	調	貸	応相談
	下谷地	田	1,487	農	売	100
	杉子沢	畑	654	〃	〃	総額 200
	善右工門堰	田	1,982	〃	〃	300
	善右工門堰	田	865	〃	〃	総額 130
	善右工門堰	田	1,705	〃	〃	350
	善右工門堰	田	2,280	〃	貸	総額22,800円/年
	田端前	田	1,794	〃	売	200
	田端前	田	1,983	〃	〃	50
	田端前	田	1,487	〃	〃	総額 100
	田端前	田	3,703	〃	貸	応相談
	堤下	田	1,983	〃	売	応相談
	中堰	田	2,859	〃	〃	総額 300
	根岸	田	2,446	調	〃	貸可 500
	前堀	畑	1,267	農	〃	総額 450
	前谷地	田	1,486	〃	貸	総額 1
	前谷地	田	2,198	〃	売	総額 180
	前谷地	田	991	〃	〃	100
	前谷地	田	991	〃	〃	総額 100
	前谷地	田	991	〃	〃	応相談
柳館	田	2,975	〃	〃	総額 500	
柳館	田	1,834	調	〃	250	
柳館	田	991	〃	〃	総額 150	
楡引	上川原	畑	1,124	調	貸	無料
	狐ヶ崎	田	1,634	〃	〃	米 60kg/年
	楡引沢	田	1,466	農	売	総額 100
	小沢田	畑	491	〃	〃	150
	早口	田	1,231	〃	貸	水利費
	谷地	田	321	〃	売	総額 100
柳ノ木	田	2,980	〃	〃	150	

裏面もあります

農地情報

農地の売買、貸借の希望が次のとおり出されています。
農地を希望する方は八戸市農業委員会までお問い合わせください。
お問い合わせ先

八戸市庁別館5階 八戸市農業委員会 0178-43-9448(直通)

農＝農用地区域 調＝調整区域 農他＝農用地区域他 市＝市街化区域
農外＝農振地域外 売＝売渡希望 貸＝貸付希望 借＝借受希望

売渡・貸付希望

大字	小字	地目	面積 (㎡)	区域	区分	10a当たり希望価格 (万円)
是川	中苗代下	田	2,591	農	売	330
	館前	畑	2,162	〃	〃	100
	東ア沢	畑	10,215	〃	〃	100
	水越沢	畑	5,791	〃	〃	100
市川町	市川	田	1,436	調	売	60
	稲荷後	畑	1,516	〃	貸	応相談
	稲荷下	田	1,010	農	売	応相談
	大沢下	田	2,026	〃	〃	100
	壁取下	田	2,051	〃	〃	総額 50
	壁取下	田	3,098	〃	〃	貸可 70
	壁取下	田	905	〃	〃	応相談
	上中平沖	田	1,991	〃	〃	100
	小鍋下	田	4,569	〃	〃	80
	小鍋下	田	5,316	〃	〃	50
	小鍋下	田	2,280	〃	〃	総額 200
	鮫ノ口	畑	730	調	貸	応相談
	下大川端	畑	3,408	農	売	総額 350
	下中平沖	畑・田	2,042	〃	〃	応相談
	新堀	田	3,430	〃	〃	応相談
	菅谷地	田	3,207	〃	〃	総額 4,800
	高屋敷	畑	337	調	売	応相談
	堂ノ下	畑	381	農外	〃	応相談
	堤下	田	2,144	農	〃	総額 150
	轟木前谷地	田	3,719	〃	〃	150
	夏秋	田	1,672	〃	〃	60
	吹上沖	田	2,513	〃	〃	30
	吹上沖	田	3,074	〃	〃	応相談
	船場川原	田	2,112	〃	〃	100
	古館	畑	431	調	〃	総額 30
	南尻引	田	3,081	農	〃	総額 500
	向谷地前	田	7,297	〃	〃	80
向谷地前	田	3,438	〃	〃	応相談	
豊崎町	境田	田	2,156	農	売	総額 600
	境田	田	4,029	〃	〃	200
	桜沢	畑	2,959	〃	〃	総額 600
	南宗坊	田	396	〃	貸	無料

売渡・貸付希望

大字	小字	地目	面積 (㎡)	区域	区分	10a当たり希望価格 (万円)
	妙字丹内	畑	3,007	調	売	応相談
	南郷区市野沢字法霊長根	畑	1,762	農	売	応相談
	南郷区泥障作字下長根	畑・田	9,259	農	売	50
	南郷区大森字長森	畑	16,145	農	売	30
	南郷区大字中野字向平	畑	13,657	農	売	総額 600
	沢里字上沢内	田	4,615	農	売	応相談 600
	新井田字赤御堂前	田	1,651	調	貸	0.5
	新井田字市子巻目 分割可	畑	2,631	調	売	総額 2,400
	新井田字外館	畑	3,035	〃	〃	貸可 応相談
	松館字岡田前	田	1,399	農	貸	総額 0.3
	八幡字松ノ木田	田	1,793	農	売	総額 400
	八幡字八ツ役	田	1,005	〃	〃	応相談
	上野字上明戸	田	3,454	農	売	応相談
	鮫町字大草離	畑	1,798	農	売	応相談
	鮫町字大草離	畑	2,612	〃	〃	無料 注1
	田面木字中村	田	1,451	農	売	350
	田面木字前田表	田	1,387	調	〃	応相談
	中居林字雷	畑	2,011	市	売	総額 550
	糠塚字狐森	畑	3,282	調	貸	0.8
	根城字西ノ沢	畑	3,189	調	売	応相談

借受希望

大字	小字	地目	面積 (㎡)	区域	区分	10a当たり希望価格 (万円)
	八戸市全域 (南郷区含む)	畑	1~200,000	不問	借受	0.5
	豊崎町	畑	3,000~5,000	不問	借受	応相談

買受希望

大字	小字	地目	面積 (㎡)	区域	区分	10a当たり希望価格 (万円)
	通清水	田	2,000~3,000	不問	買受	100

注1) 土地改良区への特別賦課金は 譲受人(買主)の負担となります。

表面もあります